

No. **22** 号  
2021年 9月号  
(令和 3年)

# ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

## CONTENTS

- P.1 ……………平塚市情報「第3回 平塚市みんなのまちづくり事例募集」
- P.2～3 ……センターレポート  
「防災座談会 ～団体間の連携で平塚の防災を推進～」
- P.4 ……………センター情報

センター  
レポート

## 防災座談会

# 『団体間の連携で平塚の防災を推進』



- ◆「防災減災パワーズブック」  
女性防災クラブ平塚パワーズ発行(左)
- ◆「あなたの家は大丈夫？」  
ひらつか防災まちづくりの会発行(右)

7月3日増水した金目川の様子／写真提供：坪井様(片岡在住)

## 平塚市情報

第3回

# 平塚市みんなのまちづくり事例募集

募集期間 ◆ 令和3年 9月3日(金)から 10月8日(金)まで

市民活動団体や自治会・町内会などの地域で活動する団体、事業者、大学等が市内で実施する、地域の課題や困りごとを解決する活動・取組みを募集します。

※コロナ禍により、縮小・休止等している活動も応募対象となります。

応募された取り組みはすべて、「平塚市みんなのまちづくり事例集」に掲載し、PRします。

また、応募事例の中から、「年間大賞」を選定し、市長表彰します。

応募用紙や詳しい応募条件は、市ウェブサイトやチラシをご覧ください。

※右記の応募フォーム(二次元コード)からも応募できます。



お問い合わせ ● 平塚市役所協働推進課 市民協働担当

電話 ● 0463-21-9618



## 防災座談会 『団体間の連携で平塚の防災を推進』

去る7月2日から3日の朝にかけて記録的な大雨になり、全国で初めて平塚市内に警戒レベル5(緊急安全確保)が発令され金目川流域の約89,000世帯(199,000人)に対し、命の危険があるとして安全確保呼びかけた事は記憶に新しいと思います。

そこで今回は特別企画として、平塚市内で防災活動に取り組んでおられる「ひらつか防災まちづくりの会」山田美智子さん、西岡哲さん、「女性防災クラブ平塚パワーズ」菅野由美子さん、木村美江子さんに日頃の活動の様子、団体間の連携等について、お話を伺いました。

### Q. コロナ禍を含め、日頃はどのような活動をしていますか？

**A. 菅野さん(女性防災クラブ平塚パワーズ:以下パワーズ)**  
平塚パワーズは主に家庭の中での防災、身近な物での防災対策、自主的な防衛手段を主眼において活動しています。令和2年度はコロナ禍の影響で活動に制限が起きてしまいましたが、防災フォーラムで災害時の避難方法の紹介、小中学校、高齢者施設などから研修の依頼を受け、ダンボールトイレ、非常食、応急手当、防護服の作成等のワークショップを開催しました。活動範囲は平塚市内に留まらず、開成町の地域団体とも交流があり、相談相手になっています。

**A. 山田さん(ひらつか防災まちづくりの会:以下ひらつか防災)**  
ひらつか防災まちづくりの会の主な活動は、防災講演会と防災まち歩きです。令和2年9月に“災害リスクを知って災害に備えよう”を主な目的として、防災冊子を発行しました。この冊子は様々な人や団体から反響をいただいています。防災講演やまち歩きサポートの依頼もありますが、すべてに対応ができないのが、団体として悩みの種です。



▲菅野さん(パワーズ)



▼木村さん(パワーズ)

**A. 山田さん(ひらつか防災)** ちなみにアメリカのカリフォルニア州では、甚大な災害後は行政と市民が協力し、災害を検証し、改善策をみんなで考えるシステムが確立されています。

**A. 西岡さん(ひらつか防災)**  
～自分の住んでいるところを知ること～  
ハザードマップを参考に平塚市や自分の住んでいる場所の状況を知ることがとても重要です。同じ地域でも少しの差で水害等災害の程度も違ってきます。平塚市博物館にも参考になる良い本がたくさんありますので是非読んで理解を深めてください。私たちの住む日本列島は、四季の変化がある豊かな自然を満喫できる国土です。しかし日本列島の形成過程から見れば、どこでも自然災害が起こる可能性のある国土でもあるということになります。自分が住んでいるところの地質や地形の成り立ちを知り、自然災害リスクを知っておくことが大事です。これまで経験したことのないような豪雨水害に対しては、流域全体で対応していく流域治水を進めていく必要があります。



▲山田さん(ひらつか防災)

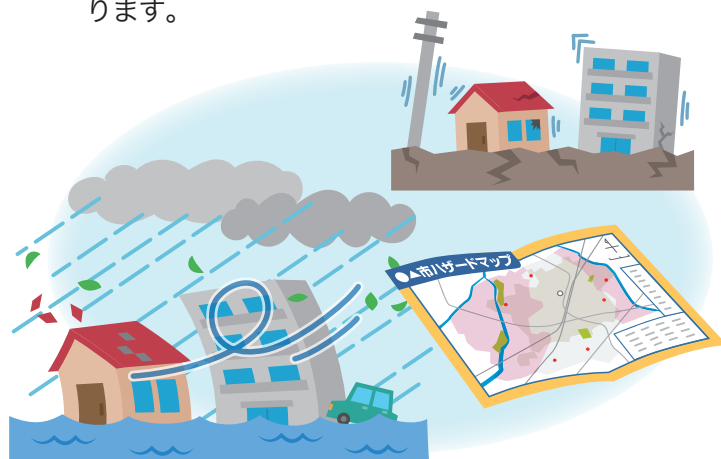


▼西岡さん(ひらつか防災)

### Q. 7月2日の様子について何か情報がありますか？

**A. 菅野さん(パワーズ)** 会員間の安全確認を第一に行い、その後関係地域からもメール等で安否確認の情報を共有しました。

**A. 山田さん(ひらつか防災)** 平塚市の情報では397件の床下・床上浸水が発生しました。公共施設にも雨漏りがあり、長持地区でも長瀬バス停が流されました。緊急安全確保発令の経緯は、今後の為にも平塚市と検証し情報共有し活かしていきたいと考えています。当会では、今回の被害状況の画像を集め、ハザードマップにマッピングしたいと考えています。







センター情報

● 団体活動にお役立てください!

**NPO@リレートーク第5回「傾聴って何?～今だからこそ聴き上手になりませんか?～」**

話しを聴いて欲しい、聴いてもらうだけで気持ちが楽になる、そんな経験は誰にもあると思います。聴き上手になることで人間関係も良くなるそうです。この機会に傾聴のコツを掴んでみませんか?

日時 ● 9月24日(金) 14:00～15:30

ゲスト ● 神奈川県傾聴赤十字奉仕団平塚分団 代表 臼井 孝さん

会場 ● ひらつか市民活動センター

対象 ● NPO 法人・市民活動団体・関心のある市民 定員 ● 20名 参加費 ● 無料



**NPO@リレートーク第6回「NPOで輝く女性たち～活動のモチベーションは人とのつながり～」**

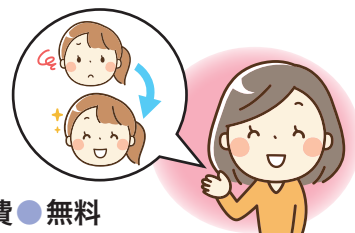
“環境破壊・貧困の解決にむけて、考え・行動する市民をひろげる”を活動目的に掲げて23年。長年の活動の中から特に心に残っているエピソードを伺います。

日時 ● 10月22日(金) 14:00～15:30

講師 ● 認定NPO法人WE21 ジャパンひらつか 代表 重田 裕子さん

会場 ● Zoomによるオンライン開催

対象 ● NPO 法人・市民活動団体・関心のある市民 定員 ● 25名 参加費 ● 無料



**我が家のお弁当自慢コンテスト参加者募集**

ステイホーム・在宅ワークなど家で食事をする機会が増え、同時にお弁当を作ったり食べたりする機会も増えていきます。そこでセンターでは、自慢のお弁当の写真を募集いたします。お預かりした写真はセンター内に展示し、来館される市民の皆さんに投票いただき、「我が家のお弁当大賞」を決定します。奮ってご参加ください。

募集内容 ● 手作りのお弁当の写真をA4サイズにカラーコピーしてご持参ください。

応募対象 ● 平塚市在住・在勤・在学ならどなたでも(年齢は小学生以上)

応募期間 ● 9月20日(月)～10月25日(月)(お一人3点まで)

投票期間 ● 10月25日(月)～11月25日(木)

表彰式 ● 11月28日(日) 11:20～



お知らせ

ひらつか市民活動センターをご利用の皆さまへ.....

日頃より当センターをご利用いただき誠にありがとうございます。緊急事態宣言の延長に伴い、センター主催事業についても延期や中止が続き、ご迷惑をおかけしております。

センターとしても一刻も早い収束を願うばかりですが、団体の皆さんに気持ちよくご利用いただくために、引き続き環境整備に努めてまいります。ご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。(センター長:坂田)

編集後記

7月2～3日にかけての豪雨で、平塚市は全国初の警戒レベル5;緊急安全確保(洪水)が発令されました。人的被害はなかったものの、住家の浸水被害397件(床上12件 床下385件)、公共施設の雨漏り・床上浸水(49施設)、土砂崩れ等(37件)、小中学校等で16避難施設を開設し、最大避難者数は(7月3日9時00分時点)143人、総避難世帯数67世帯でした(7月16日11時現在の平塚市情報)。

これから台風シーズンを迎えます。今一度、身の回りの防災対策を見直してみたいはいかがでしょうか?(さ)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町1-8

TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● http://hiratsuka-shimin.net

センター登録団体数(2021年8月15日現在)

登録団体数 ● 453 団体

(内訳 市民活動団体...327 団体、一般団体...126 団体)

